



2022年3月期
決算説明資料

新家工業株式会社

2022年6月20日

証券コード7305

目次

I. 2022年3月期 連結決算概要	2
II. 2022年3月期 セグメント毎の概要	16
III. 2023年3月期 通期連結業績予想	21
IV. 株主還元	24
V. 中期経営計画2023の進捗状況等	26
VI. ご参考	30

※本資料における数字は、百万円未満を切捨てております。

%表示は、小数点以下第1位未満を切捨てております。

I.1_1 2022年3月期 連結決算要旨

売上高

407.6 億円

(前年度比 + 11.7 %)

売上
総利益

89.7 億円

(前年度比 + 44.7 %)

営業
利益

33.8 億円

(前年度比 + 374.3 %)

経常
利益

37.8 億円

(前年度比 + 295.4 %)

親会社株主に
帰属する
当期純利益

25.7 億円

(前年度比 + 100.3 %)

EBITDA
(営業利益+
減価償却費)

41.5 億円

(前年度比 + 190.8 %)

I.1_2 2022年3月期 連結決算要旨

【ROE】
自己資本
当期純利益率

9.4 %
(前年度比 + 4.2 pt)

【ROA】
総資産
経常利益率

7.7 %
(前年度比 + 5.6 pt)

※自己資本および総資産ともに期中平均を用いて計算しております。

【BPS】
1株当たり
純資産

5,144円71銭
(前年度比 + 10.0 %)

【EPS】
1株当たり
当期純利益

462円17銭
(前年度比 + 100.3 %)

※期末時点の発行済み株式数6,045,326株から自己株式数478,655株を除いた株式数 (5,566,671株) で計算しております。

有利子負債

66.0 億円
(前年度比 ▲ 3.1 %)

FCF
(営業CF+投資CF)

3.7 億円
(前年度比 ▲ 77.4 %)

2022年3月期 決算のポイント

前年度比 : **【増収増益】**

主力の鋼管関連事業において製品販売価格の引き上げを実施し、市況環境の後押しもあり、販売数量が増加。結果、増収増益となった。

世界的な半導体不足や東南アジアを中心としたサプライチェーンの混乱により様々な分野で部品調達に支障が出たことや、ウクライナ情勢に伴う急激な供給不安の高まりで鉄鉱石・石炭といった鉄鋼原料の価格が高騰し、鋼管製品の原材料や諸経費がさらに上昇する厳しい状況が続いた。

当社グループでは、営業活動に注力、製品販売価格への転嫁に努めたものの鋼管製品市況のタイト感と先高感を後押しに販売数量も増加し、結果当期は、増収増益となった。

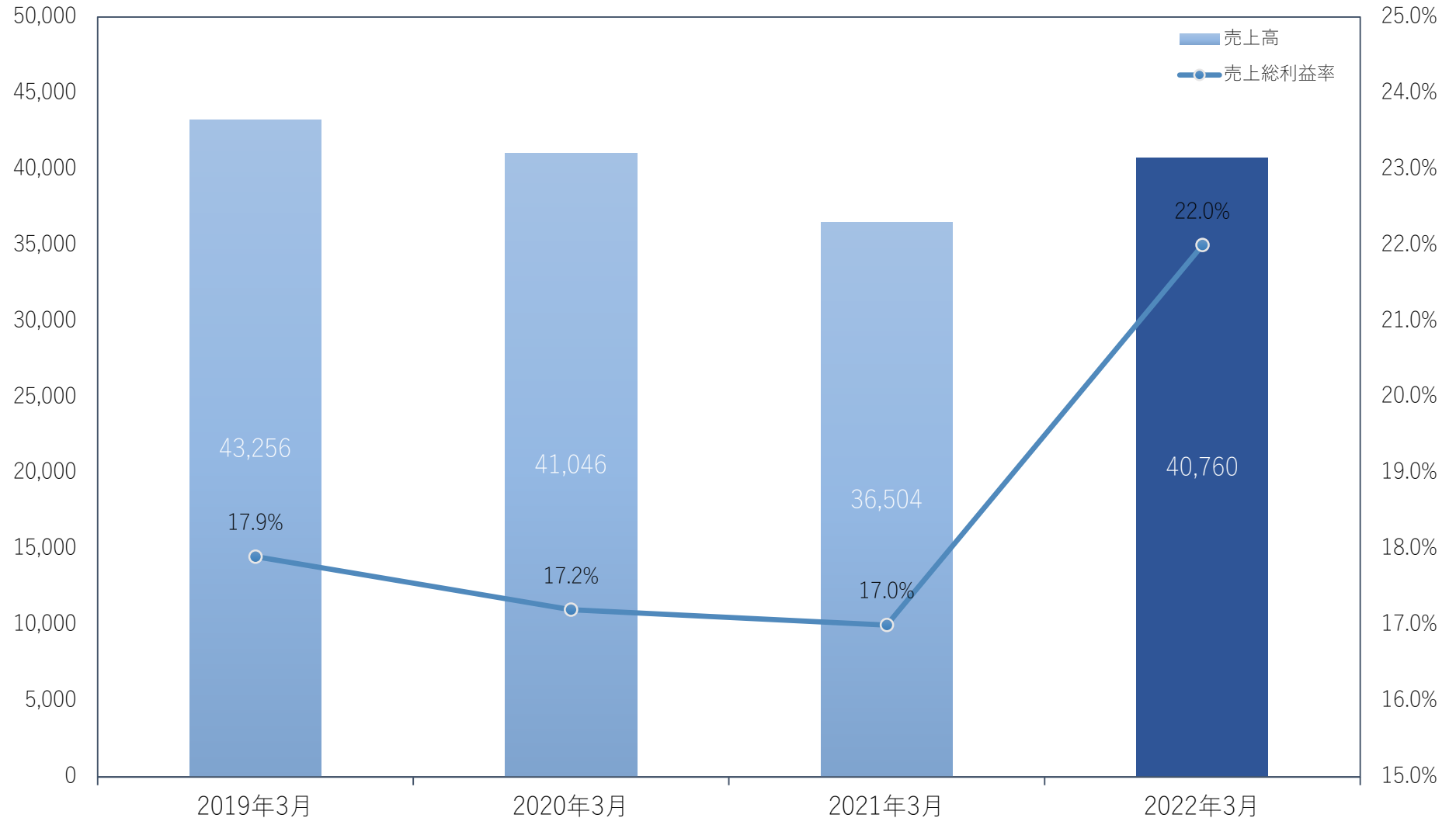
なお、親会社株主に帰属する当期純利益については、過去最高益になった。

I.2_ 2022年3月期 連結損益計算書 (4期比較)

	2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期		当期 (2022年3月)	
	金額	(売上高比)	金額	(売上高比)	金額	(売上高比)	金額	(売上高比)
(単位：百万円)								
売上高	43,256	(-)	41,046	(-)	36,504	(-)	40,760	(-)
売上原価	35,502	(82.0%)	33,950	(82.7%)	30,292	(82.9%)	31,784	(77.9%)
売上総利益	7,754	(17.9%)	7,096	(17.2%)	6,212	(17.0%)	8,975	(22.0%)
販売費及び一般管理費	5,690	(13.1%)	5,820	(14.1%)	5,499	(15.0%)	5,591	(13.7%)
営業利益	2,063	(4.7%)	1,275	(3.1%)	713	(1.9%)	3,384	(8.3%)
営業外収益	305	(0.7%)	330	(0.8%)	343	(0.9%)	463	(1.1%)
営業外費用	133	(0.3%)	140	(0.3%)	100	(0.2%)	66	(0.1%)
経常利益	2,235	(5.1%)	1,464	(3.5%)	956	(2.6%)	3,781	(9.2%)
特別利益	298	(0.6%)	2	(0.0%)	943	(2.5%)	78	(0.1%)
特別損失	270	(0.6%)	49	(0.1%)	242	(0.6%)	116	(0.2%)
税金等調整前当期期純利益	2,263	(5.2%)	1,417	(3.4%)	1,656	(4.5%)	3,742	(9.1%)
法人税等合計	551	(1.2%)	568	(1.3%)	301	(3.7%)	1,140	(2.8%)
非支配株主に帰属する当期純利益	209	(0.5%)	142	(0.3%)	71	(0.2%)	28	(0.0%)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,502	(3.4%)	706	(1.7%)	1,284	(3.5%)	2,573	(6.3%)

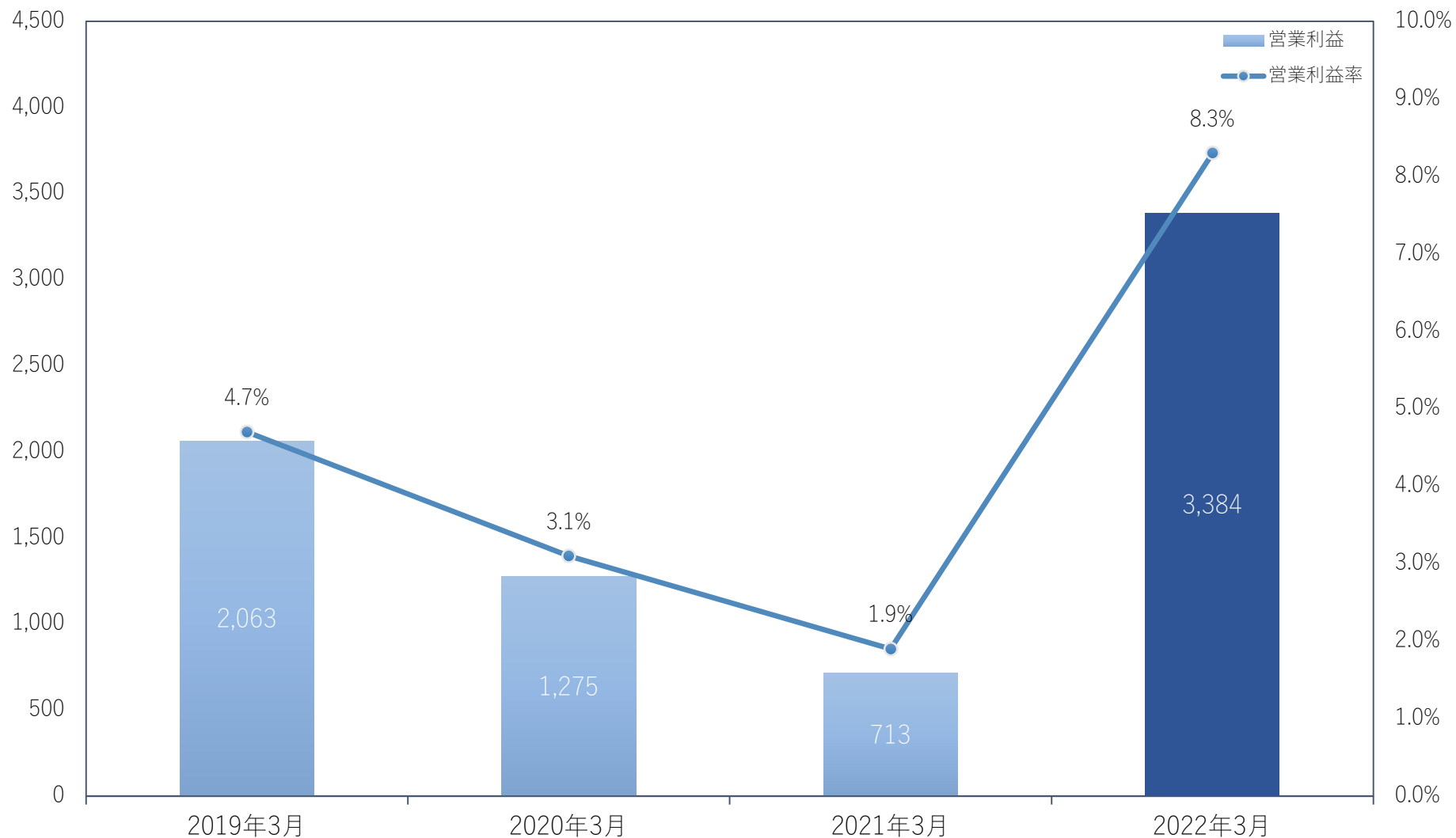
I.3_1 2022年3月期 連結売上高（推移表）

（単位：百万円）



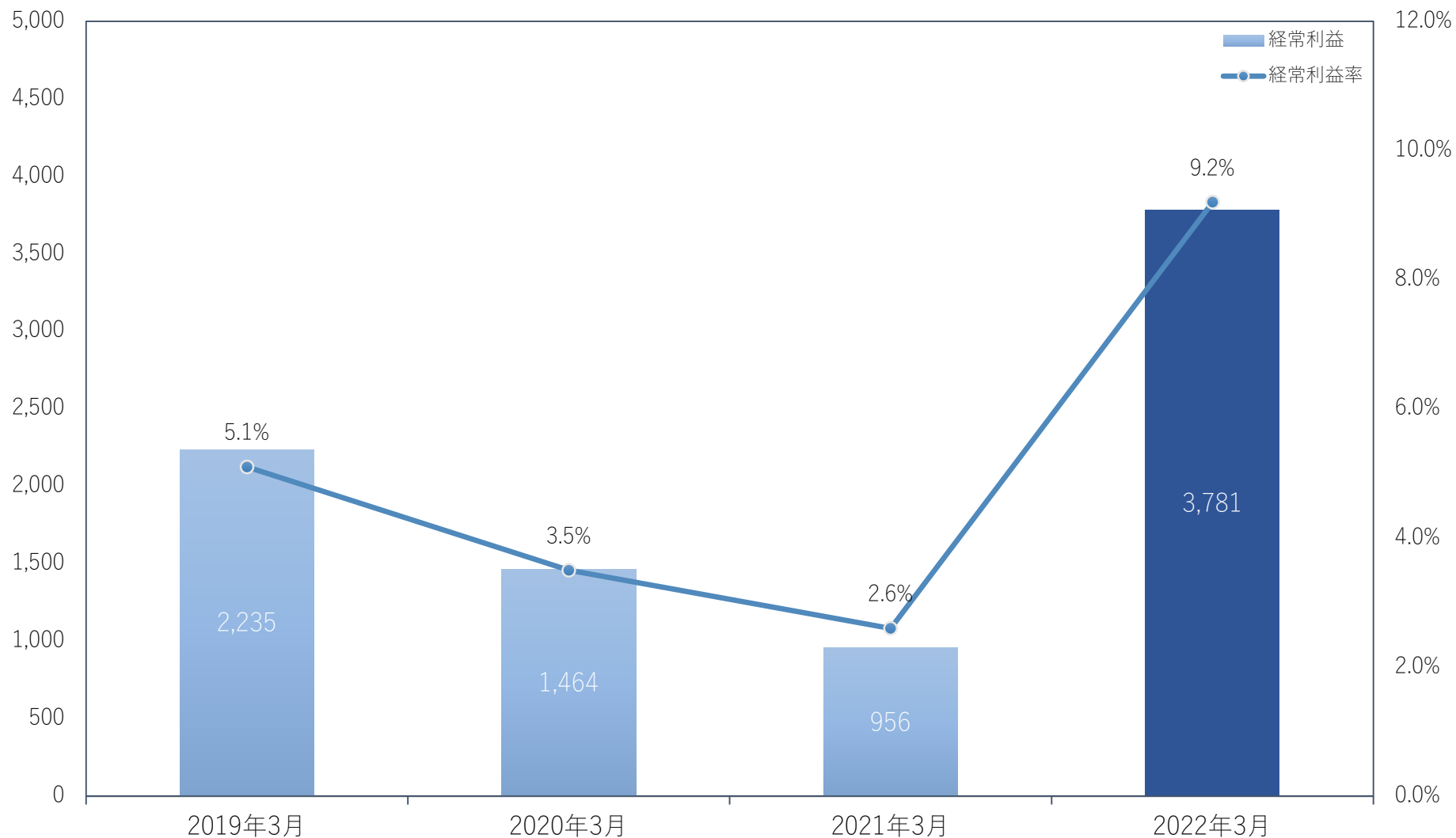
I.3_2 2022年3月期 連結営業利益（推移表）

（単位：百万円）



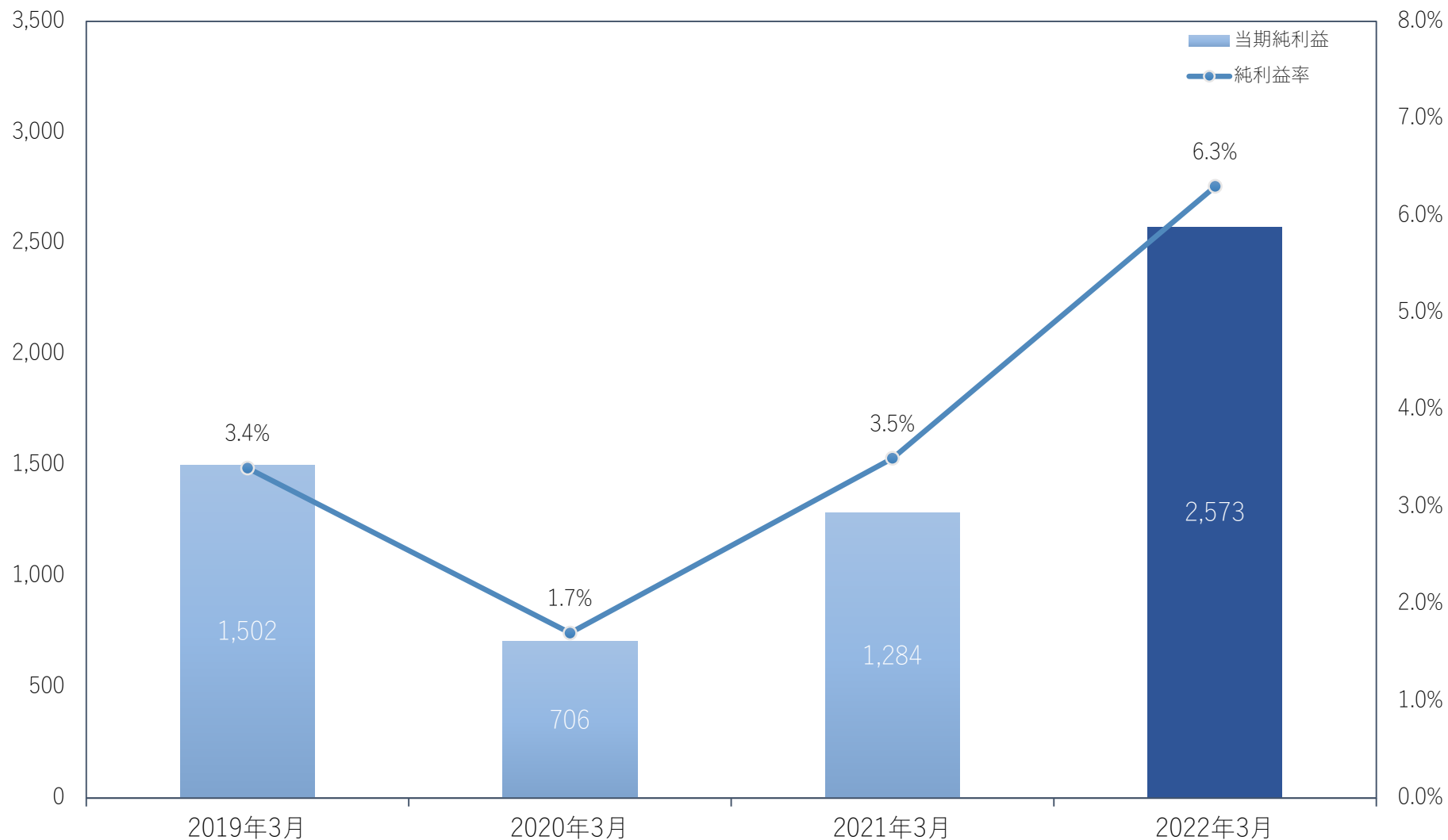
I.3_3 2022年3月期 連結經常利益（推移表）

（単位：百万円）



I.3_4 2022年3月期 連結当期純利益（推移表）

（単位：百万円）



I.4_ 2022年3月期 連結当期純利益（概況）

純利益額	25億73百万円	前年度比	+12億88百万円（+50.0%）
純利益率	6.3%	前年度比	+2.8pt

主な増減要因

1. 営業利益の増加 + 26億70百万円

⇒ 原材料価格の上昇に伴い、鋼管製品の販売価格の引き上げを実施
鋼管製品の市況のタイト感と先高感を背景に販売数量が増加

2. 特別利益の減少 ▲ 8億65百万円

⇒ 前年度は、インドネシアの連結子会社の清算に伴う固定資産の譲渡による「固定資産売却益」および関西工場の再構築に伴う「事業構造改善引当金戻入額」等、特別利益として8億84百万円を計上したため、特別損益において大幅な差異が発生

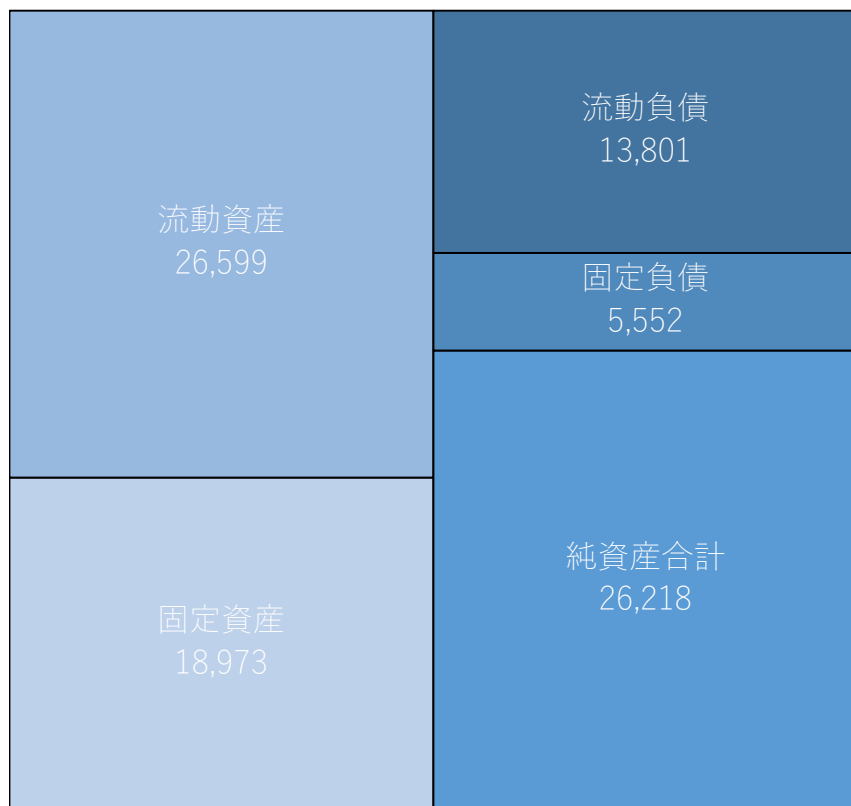
I.5_1 2022年3月期 連結貸借対照表の状況

	当期 (2022年3月)	前期 (2021年3月)	増減額	主な増減要因	
(単位：百万円)					
資産の部	流動資産	31,802	26,559	+5,202	電子記録債権の増加 +1,308百万円
	現金及び預金	8,141	8,409	▲267	-
	固定資産	20,722	18,973	+1,748	建物及び構築物（純額）の増加 +653百万円
	資産合計	52,524	45,572	+6,951	-
負債の部	流動負債	18,219	13,801	+4,417	支払手形及び買掛金の増加 +2,283百万円
	固定負債	5,457	5,552	▲94	長期繰延税金負債の増加 ▲319百万円
	負債合計	23,676	19,354	+4,322	-
純資産の部	株主資本	26,329	24,122	+2,207	利益剰余金の増加 +2,207百万円
	その他の包括利益累計額	2,309	1,912	+397	その他有価証券評価差額金の増加 +397百万円
	非支配株主持分	208	183	+24	-
	純資産合計	28,847	26,218	+2,628	-
負債純資産合計	52,524	45,572	+6,951	-	

I.5_2 2022年3月期 連結貸借対照表 (2期比較)

前期(2021年3月)_連結BS

(単位：百万円)



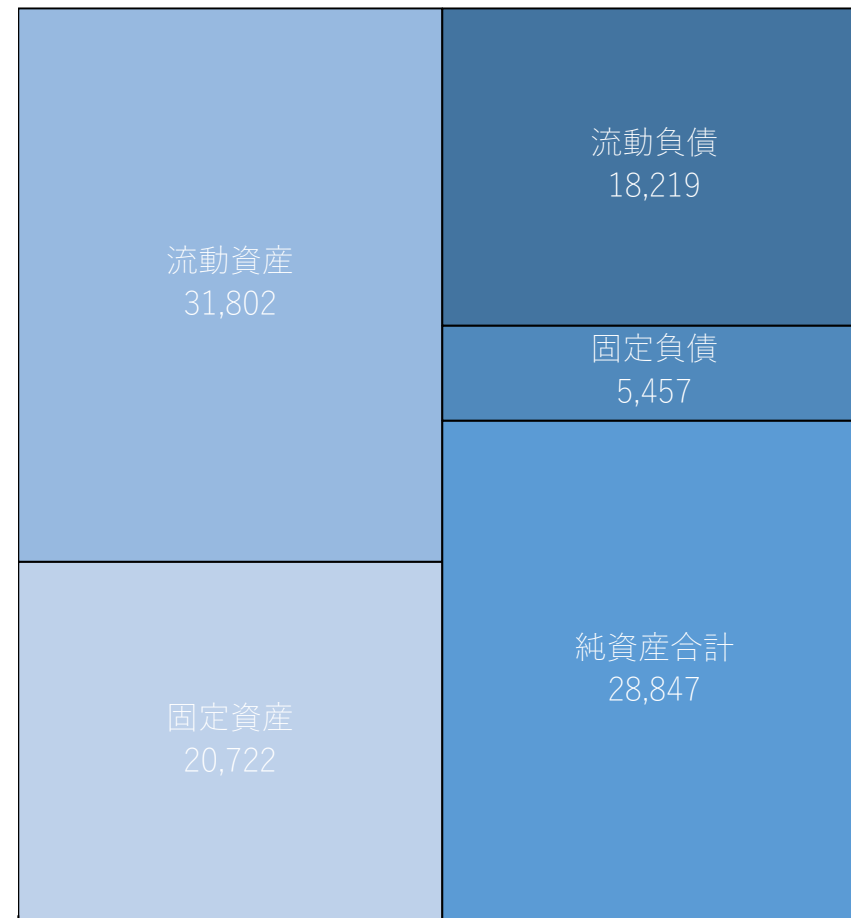
資産合計 45,572

負債・純資産合計 45,572



当期(2022年3月)_連結BS

(単位：百万円)



資産合計 52,524

負債・純資産合計 52,524

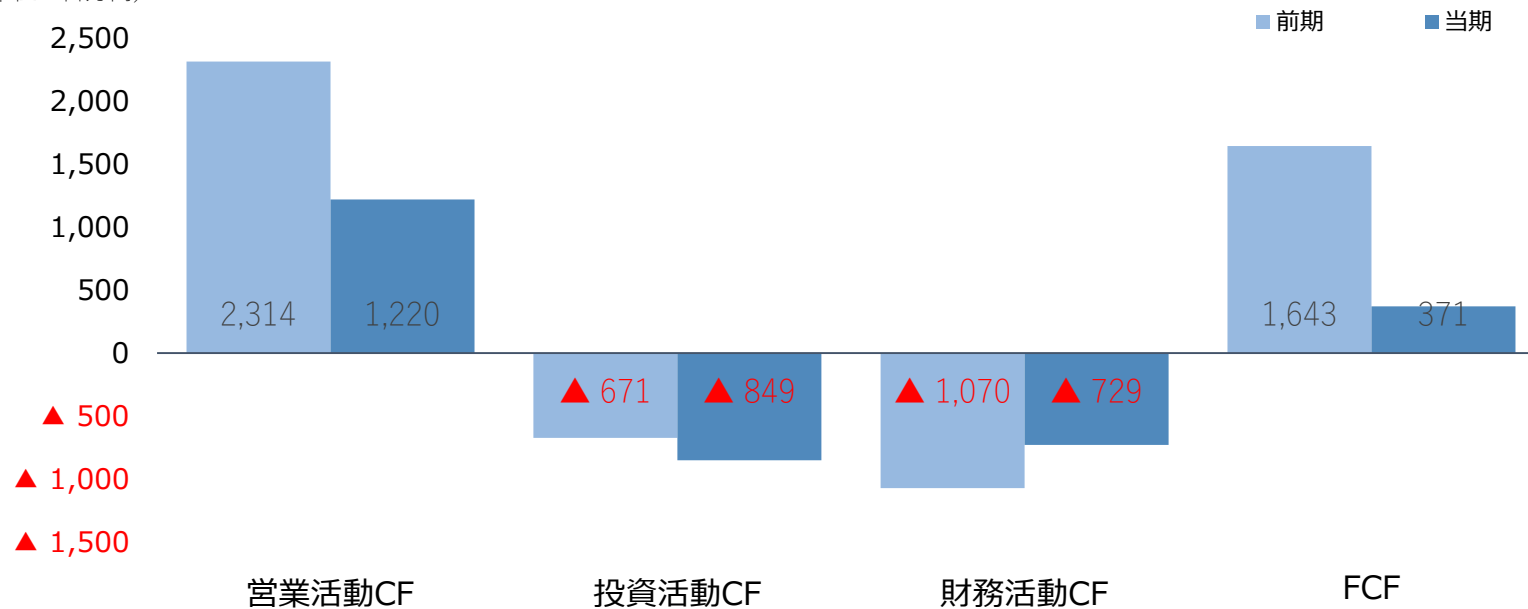
I.6_1 2022年3月期 連結CF計算書

(単位：百万円)	当期 (2022年3月)	前期 (2021年3月)	増減	主な増減要因	
営業活動による キャッシュフロー	1,220	2,314	▲1,093	税金等調整前当期純利益の増加 たな卸資産の増減額の変動	+2,085百万円 ▲4,022百万円
投資活動による キャッシュフロー	▲849	▲671	▲178	投資有価証券の売却による収入の減少	▲439百万円
財務活動による キャッシュフロー	▲729	▲1,070	+341	短期借入金の純増減額の変動	+1,683百万円
現金及び現金同等物 に係る換算差額	90	▲37	▲0	-	-
現金及び現金同等物 の増減額 (△は減少)	▲267	535	+0	-	-
現金及び現金同等物 の期首残高	8,409	7,874	+535	-	-
現金及び現金同等物 の期末残高	8,141	8,409	▲267	-	-
フリーキャッシュフロー	371	1,643	▲1,272	(営業活動によるCF + 投資活動によるCF)	

I.6_2 2022年3月期 連結CF概況

営業活動によるCF		投資活動によるCF		財務活動によるCF	
1,220百万円 (前年度 2,314百万円)		▲ 849百万円 (前年度 ▲ 671百万円)		▲ 729百万円 (前年度 ▲ 1,070百万円)	
主な項目		主な項目		主な項目	
税引前当期純利益	3,742百万円	投資有価証券の取得による支出	▲ 11百万円	短期借入金の純増減額	5百万円
減価償却費	773百万円	関係会社の整理による収入	87百万円	長期借入金の返済による支出	▲ 319百万円
売上債券の増減額	▲ 2,472百万円	有形固定資産の取得による支出	▲ 885百万円	配当金の支払い額	▲ 361百万円
たな卸資産の増減額	▲ 2,727百万円	無形固定資産の取得による支出	▲ 41百万円		
仕入債務の増減額	2,935百万円				

(単位：百万円)



目次

I. 2022年3月期 連結決算概要	2
II. 2022年3月期 セグメント毎の概要	16
III. 2023年3月期 通期連結業績予想	21
IV. 株主還元	24
V. 中期経営計画2023の進捗状況等	26
VI. ご参考	30

※本資料における数字は、百万円未満を切捨てております。

%表示は、小数点以下第1位未満を切捨てております。

II.1_セグメント別売上高・営業利益構成比率

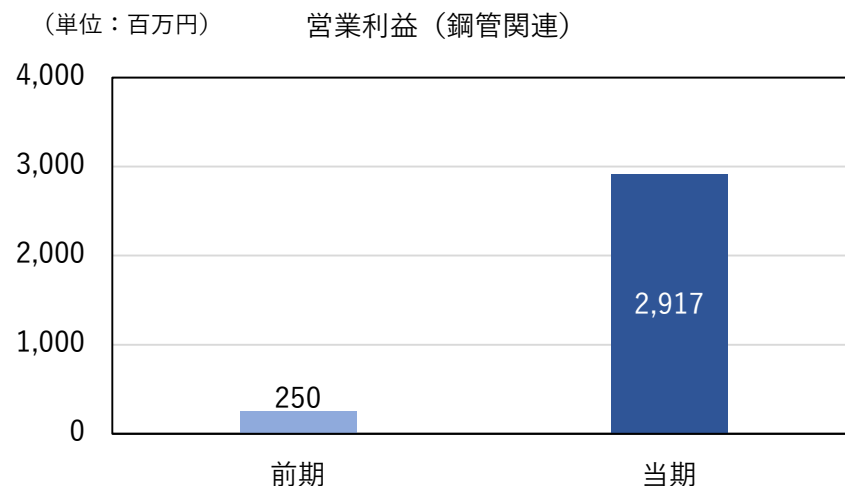
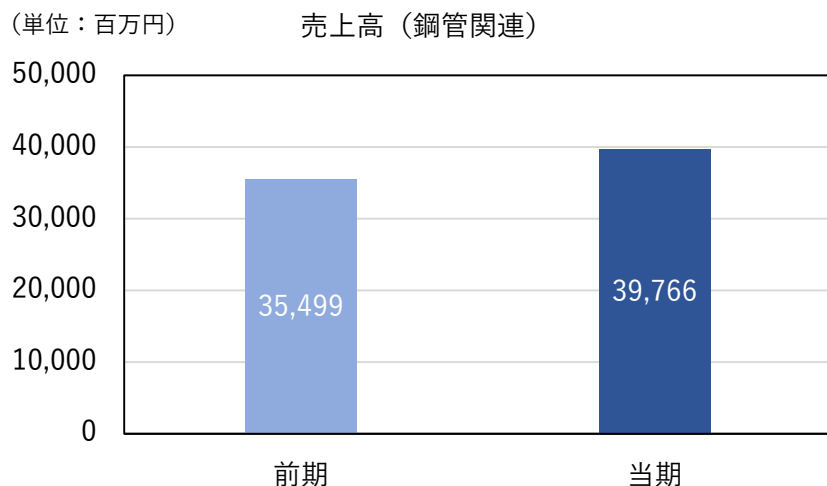
	当期 (2022年3月)			前期 (2021年3月)			増減		
	(単位：百万円)	金額	構成比 (営業利益率)	金額	構成比 (営業利益率)	金額	率		
売上高	鋼管関連	39,766	97.6%	35,499	97.2%	+4,267	+12.0%		
	自転車関連	367	0.9%	425	1.2%	▲58	▲13.7%		
	不動産等賃貸	607	1.5%	568	1.6%	+38	+6.8%		
	その他	19	0.0%	9	0.0%	+8	+72.0%		
	小計 (連結PL計上額)	40,760	100.0%	36,504	100.0%	+4,255	+11.7%		
営業費用	鋼管関連	36,848	98.6%	35,248	98.5%	+1,600	+4.5%		
	自転車関連	390	1.1%	492	1.4%	▲101	▲20.7%		
	不動産等賃貸	75	0.2%	76	0.2%	▲0	▲0.9%		
	その他	15	0.0%	8	0.0%	+6	+79.5%		
	調整額	45	0.1%	▲34	▲0.1%	+80	-		
小計	37,376	100.0%	35,791	100.0%	+1,585	+4.4%			
営業利益	鋼管関連	2,917	86.2%	(7.3%)	250	35.1%	(0.7%)	+2,666	+1,064.1%
	自転車関連	▲23	▲0.7%	(▲6.3%)	▲66	▲9.3%	(▲15.7%)	+43	-
	不動産等賃貸	531	15.7%	(87.4%)	491	69.0%	(86.5%)	+39	+8.0%
	その他	4	0.1%	(22.9%)	2	0.4%	(26.2%)	+1	+50.9%
	調整額	▲45	▲1.3%	-	34	4.8%	-	▲80	-
小計 (連結PL計上額)	3,384	100.0%	(8.3%)	713	100.0%	(1.9%)	+2,670	+374.3%	

II.2_1 鋼管関連セグメント（概況）

売上高	397億66百万円	前年度比	+ 42億67百万円 (+12.0%)
営業利益	29億17百万円	前年度比	+ 26億66百万円 (+1064.1%)

主な増減要因


1. 普通鋼製品
 - ・ 製品販売価格への転嫁により、売上高が増加。
 - ・ データセンター・物流倉庫向けの建築案件等の需要が堅調に推移、販売数量も増加。
 2. ステンレス鋼製品
 - ・ ニッケル価格の高騰に伴い製品販売価格を引き上げ、半導体関連案件を中心に需要は堅調に推移。
- 普通鋼製品およびステンレス鋼製品いずれも粗利益率が改善し、営業利益が大幅に増額。



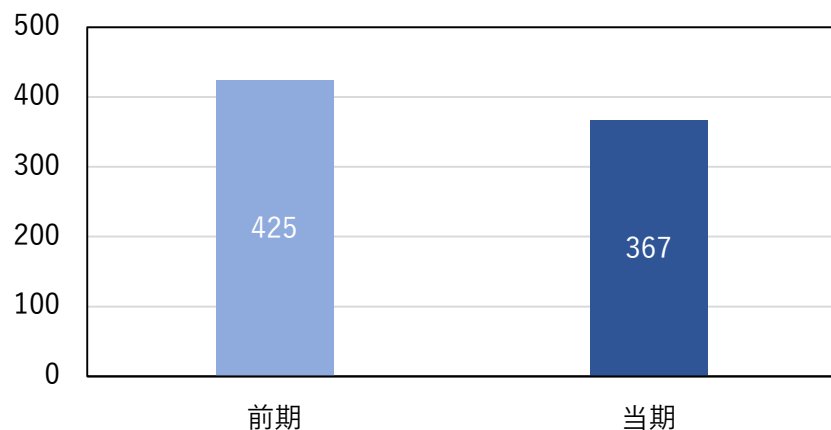
II.2_2 自転車関連セグメント（概況）

売上高	3億67百万円	前年度比	▲ 58百万円 (▲13.7%)
営業損失	▲23百万円	前年度比	+ 43百万円

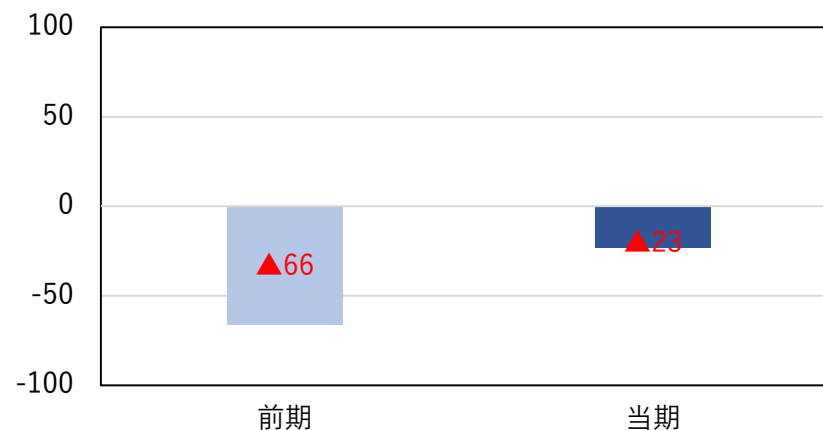
主な増減要因

1. 新たなスポーツ用自転車ブランド  POLYGON の取扱いを開始
 - ・ 2021年下期より、新たな顧客層の開拓を図ることを目的に、日本における正規代理店として本格的にPOLYGONブランドのスポーツ用自転車の輸入販売を開始。
2. 前年度同様に自転車部品の供給不足
 - ・ 世界的な自転車需要の拡大や中国のロックダウンの影響もあり、自転車部品の供給量が不足し、アラヤ、ラレーブランドのスポーツ用自転車については、販売台数が減少。

(単位：百万円) 売上高（自転車関連）



(単位：百万円) 営業損失（自転車関連）



II.2_3 不動産等賃貸セグメント（概況）

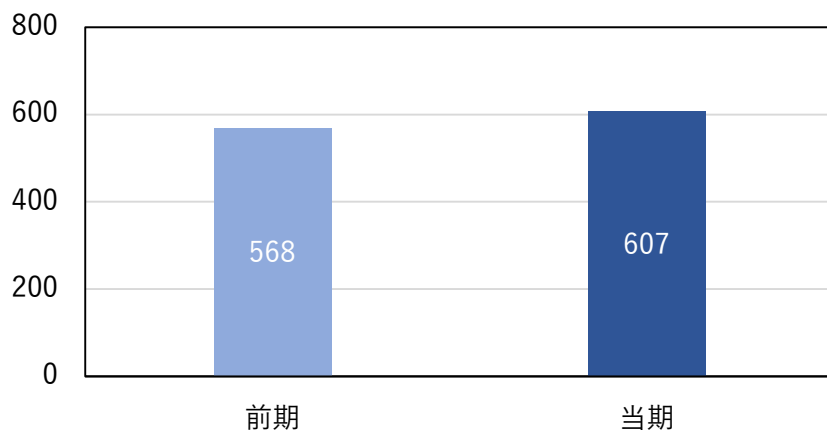
売上高	6億07百万円	前年度比	+ 38百万円 (+6.8%)
営業利益	5億31百万円	前年度比	+ 39百万円 (+8.0%)

主な増減要因

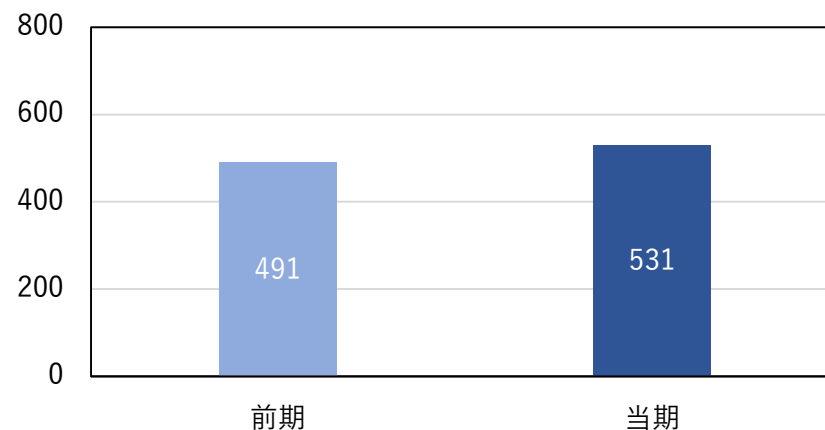
1. 地代収入の増加

- ・ 関西工場内旧リム工場跡地の地代収入を計上したことにより、売上高・営業利益ともに増加

(単位：百万円) 売上高（不動産等賃貸）



(単位：百万円) 営業利益（不動産等賃貸）



目次

I. 2022年3月期 連結決算概要	2
II. 2022年3月期 セグメント毎の概要	16
<u>III. 2023年3月期 通期連結業績予想</u>	<u>21</u>
IV. 株主還元	24
V. 中期経営計画2023の進捗状況等	25
VI. ご参考	30

※本資料における数字は、百万円未満を切捨てております。

%表示は、小数点以下第1位未満を切捨てております。

III.1_ 2023年3月期 通期連結業績予想の見通し

今後の見通し

■ 不確定要素が多く先行き不透明な状況が続く

コロナ禍からの景気回復への期待感が膨らむ一方で、ウクライナ情勢の長期化懸念および世界的な脱炭素の動きや円安といったコストアップ要因もあり、不透明な状況が継続するものと想定。

普通鋼の原料である鉄鋼石および原料炭価格ならびにステンレス鋼の原料であるニッケル価格のいずれも高値圏で推移しており、この傾向が継続する可能性は高いと想定。

■ 鋼管製品の需要は、一定の分野で底堅いものと想定

普通鋼は物流倉庫案件等、ステンレス鋼は半導体関連等の一定の分野において需要は底堅いものと想定。一方で販売価格の高騰に伴う需要減少、製品の代替リスクも否定できない。

■ 当社グループとしての取り組み

原材料価格の値上げに適宜適切に対応、継続的に販売価格の引き上げに取り組む。

■ 当期の業績見通し

鋼管製品の市況を踏まえると販売数量は前期より減少するものと想定。
販売価格の引き上げにより売上高は増加するが、利益は縮小すると予想。

III.2_ 2023年 3 月期 通期連結業績予想値

売上高

420 億円

(前年度比 +3.0%)

営業
利益

25 億円

(前年度比 ▲26.1%)

経常
利益

27 億円

(前年度比 ▲28.6%)

親会社株主に
帰属する
当期純利益

18 億円

(前年度比 ▲30.0%)

1株当たり
当期純利益

323円35銭

(前年度比 ▲30.0%)

※上記の予想数値は、発表日現在において入手可能な情報および当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいた見通しであり、実際の業績等は、今後様々な要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

目次

I. 2022年3月期 連結決算概要	2
II. 2022年3月期 セグメント毎の概要	16
III. 2023年3月期 通期連結業績予想	21
<u>IV. 株主還元</u>	<u>24</u>
V. 中期経営計画2023の進捗状況等	26
VI. ご参考	30

※本資料における数字は、百万円未満を切捨てております。

%表示は、小数点以下第1位未満を切捨てております。

IV. 配当金実績および予想

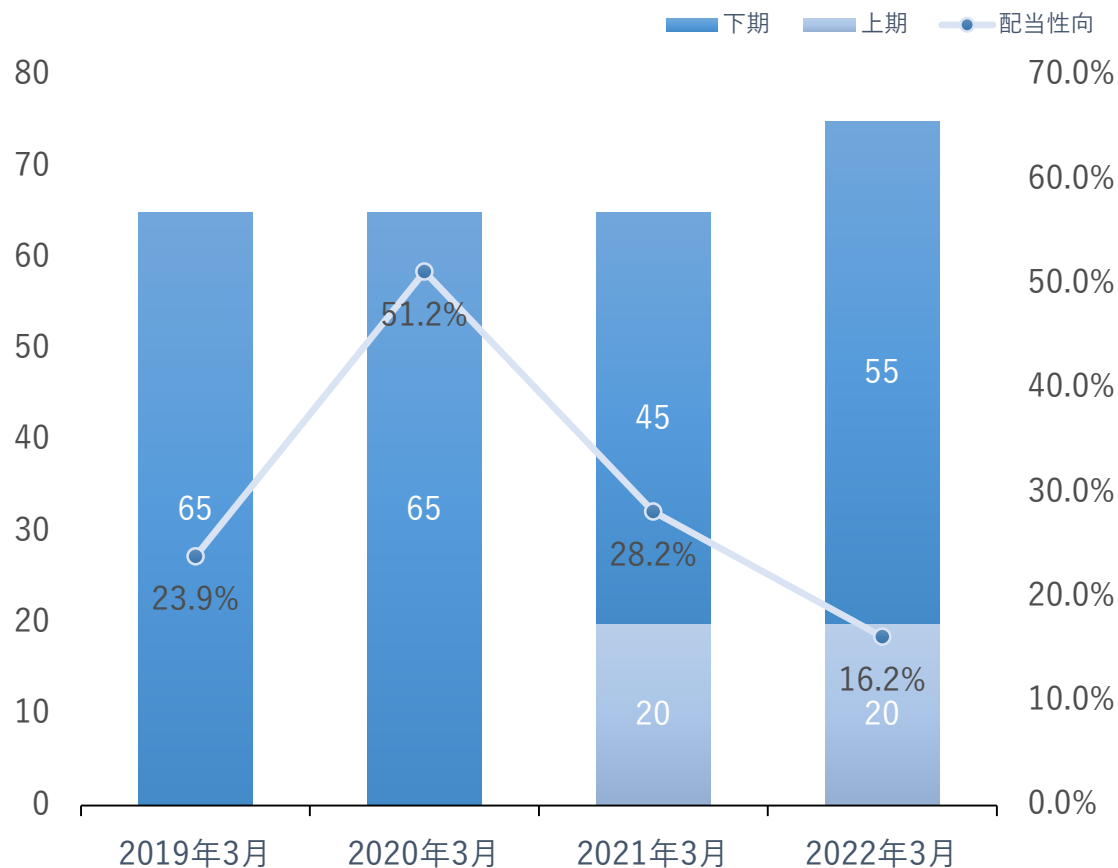
基本方針 安定的かつ継続的な配当の実施（配当性向等は定めておりません）

年間配当予想については、中間 20 円、期末 45 円、年間で 65 円を予定。

2022年3月期配当金（前期）	
中 間	20円00銭
期 末(予定)	55円00銭
年 間(予定)	75円00銭
配当性向(予定)	16.2%

※期末配当には、10円の記念配当を含みます

2023年3月期配当金（当期）	
中 間(予定)	20円00銭
期 末(予定)	45円00銭
年 間(予定)	65円00銭
配当性向(予定)	20.1%



目次

I. 2022年3月期 連結決算概要	2
II. 2022年3月期 セグメント毎の概要	16
III. 2023年3月期 通期連結業績予想	21
IV. 株主還元	24
<u>V. 中期経営計画2023の進捗状況等</u>	<u>26</u>
VI. ご参考	30

※本資料における数字は、百万円未満を切捨てております。

%表示は、小数点以下第1位未満を切捨てております。

V.1_ 中期経営計画2023の基本方針と実績等

『基本方針』

モノづくりへのこだわりで世の中の課題をカタチに変える。

～変化と変革により世の中のニーズに応えるソリューション製造業としての地位を確立～

2022年3月期の振り返り

定量目標である「売上高」「営業利益（営業利益率）」「ROE」の全項目において、目標達成。

→ 本資料 4頁 に記載のとおり、計画策定時から外部環境が著しく変化し、売上高、営業利益ともに大幅に増加

2022年3月期実績（連結）			
（単位：百万円）	当初目標	実績	達成率
売上高	35,000 →	40,760	116.4%
営業利益	1,100 →	3,384	307.6%
営業利益率	3.1% →	8.3%	(+ 5.2pt)
ROE	3.4% →	9.4%	(+ 6.0pt)

V.2_ 中期経営計画2023の重点施策と進捗状況

1.製造・販売力の強化と収益力の向上

- 設備投資・機械更新等により、各工場の生産能力を向上、関東地区を中心に拡販を計画。
- ロール成型技術の見直しを実施、品質精度を向上させ、付加価値の高い製品を製造。
- IOT技術の導入に向け、製造現場におけるデータ収集や生産工程の最適化の検討を開始。
- 営業情報の共有化・有効利用のためのシステム導入の検討を開始。

2.経営基盤の強化

- 有価証券管理・運用方針のより一層の明確にするため、有価証券ポートフォリオの状況把握と分析に注力。
- 新会計システムを導入し、管理業務の本社部門への集約を図り、業務の効率化を実施。
- 紙資料を削減・業務効率化のため、各種資料の電子化を図るとともに一部の会議体をペーパーレスに移行。

3.ESG視点の課題への取り組み

- コンプレッサーやインバーターを更新し、省エネ化を図った。
- 投資家向け説明会資料を作成するとともに各種方針を策定・HPに開示し、情報開示体制の充実を図った。
- 任意の諮問機関として、役員指名委員会を設置し、役員選任手続きの公正性・透明性の確保に努めた。

V.3_ 中期経営計画2023の数値目標の修正について

修正の理由

計画策定時から外部環境が著しく変化し、2022年3月期は売上高、営業利益ともに大幅に増加。同期の業績の進捗と外部環境変化を踏まえ、2023年3月期および2024年3月期の数値目標について修正。

1. 2023年3月期_数値目標

売上高：36,700百万円 → 42,000百万円 営業利益：1,400百万円 → 2,500百万円 ROE：4.1% → 6.1%

2. 2024年3月期_数値目標

売上高：38,000百万円 → 43,500百万円 営業利益：1,500百万円 → 2,700百万円 ROE：4.5% → 6.3%

中期経営計画2023 修正後目標等			
(単位：百万円)	2022年3月期 実績	2023年3月期 目標	2024年3月期 目標
売上高	40,760	<u>42,000</u>	<u>43,500</u>
営業利益	3,384	<u>2,500</u>	<u>2,700</u>
営業利益率	8.3%	<u>5.9%</u>	<u>6.1%</u>
ROE	9.4%	<u>6.1%</u>	<u>6.3%</u>

(ご参考) 中期経営計画2023 当初目標			
(単位：百万円)	2022年3月期 目標	2023年3月期 目標	2024年3月期 目標
売上高	35,000	36,700	38,000
営業利益	1,100	1,400	1,500
営業利益率	3.1%	3.8%	3.9%
ROE	3.4%	4.1%	4.5%

目次

I. 2022年3月期 連結決算概要	2
II. 2022年3月期 セグメント毎の概要	16
III. 2023年3月期 通期連結業績予想	21
IV. 株主還元	24
V. 中期経営計画2023の進捗状況等	26
<u>VI. ご参考</u>	<u>30</u>

※本資料における数字は、百万円未満を切捨てております。

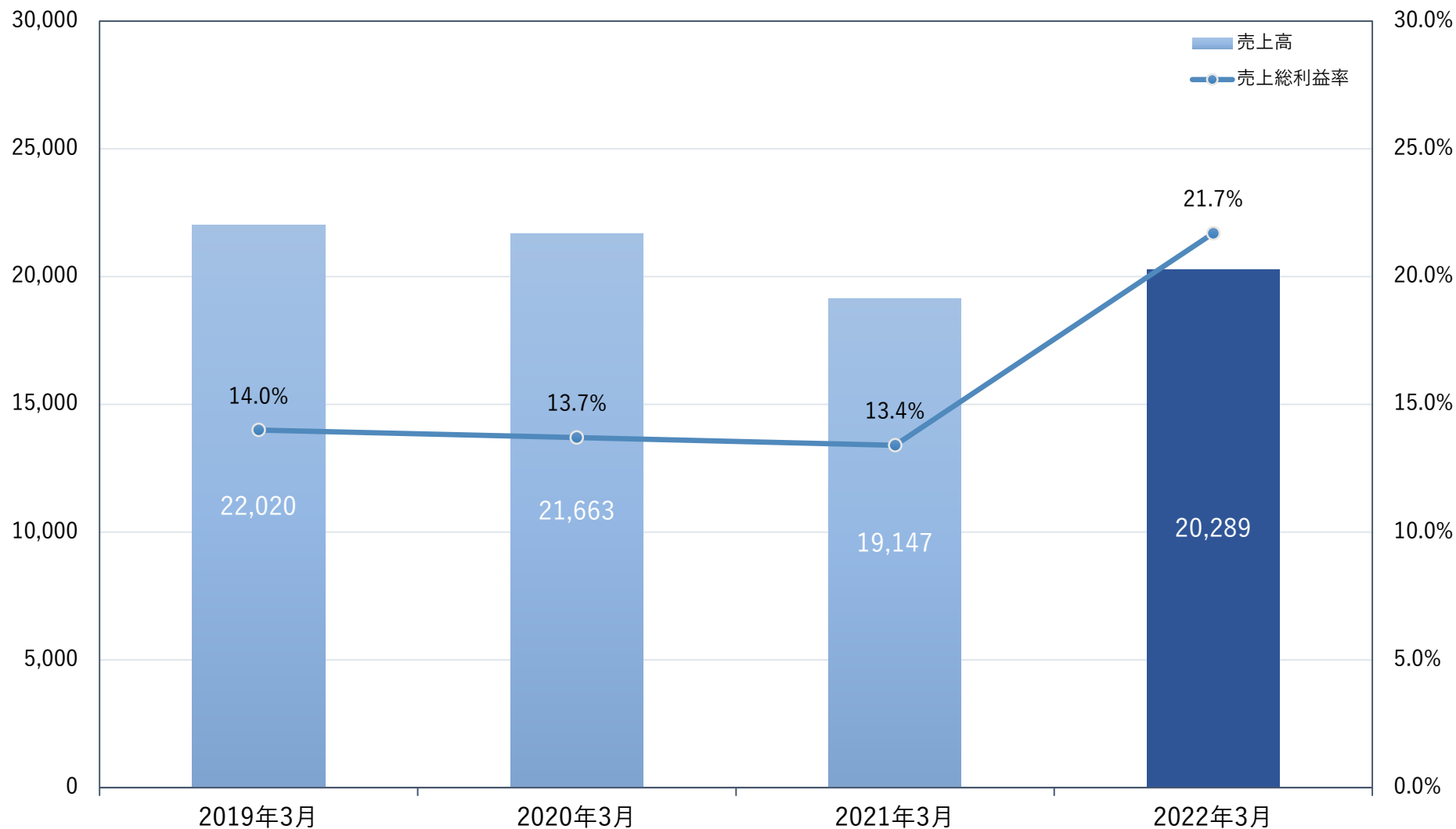
%表示は、小数点以下第1位未満を切捨てております。

VI.1. 個別損益計算書（4期比較）

	2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期	
	(単位：百万円)		金額	(売上高比)	金額	(売上高比)	金額	(売上高比)
売上高	22,020	(-)	21,663	(-)	19,147	(-)	20,289	(-)
売上原価	18,920	(85.9%)	18,677	(86.2%)	16,578	(86.5%)	16,121	(84.2%)
売上総利益	3,100	(14.0%)	2,985	(13.7%)	2,569	(13.4%)	4,167	(21.7%)
販売費及び一般管理費	2,411	(10.9%)	2,526	(11.6%)	2,338	(12.2%)	2,333	(12.1%)
営業利益	688	(3.1%)	459	(2.1%)	231	(1.2%)	1,834	(9.5%)
営業外収益	891	(4.0%)	261	(1.2%)	1,048	(5.5%)	376	(1.9%)
営業外費用	66	(0.3%)	111	(0.5%)	102	(0.5%)	64	(0.3%)
経常利益	1,513	(6.8%)	609	(2.8%)	1,176	(6.1%)	2,146	(11.2%)
特別利益	211	(0.9%)	0	(0.0%)	245	(1.3%)	77	(0.4%)
特別損失	712	(3.2%)	175	(0.8%)	379	(2.0%)	28	(0.1%)
税金等調整前当期純利益	1,011	(4.6%)	433	(2.0%)	1,042	(5.5%)	2,195	(11.4%)
法人税等合計	302	(1.3%)	177	(0.8%)	160	(0.8%)	681	(3.5%)
当期純利益	709	(3.2%)	255	(1.1%)	882	(4.6%)	1,513	(7.9%)

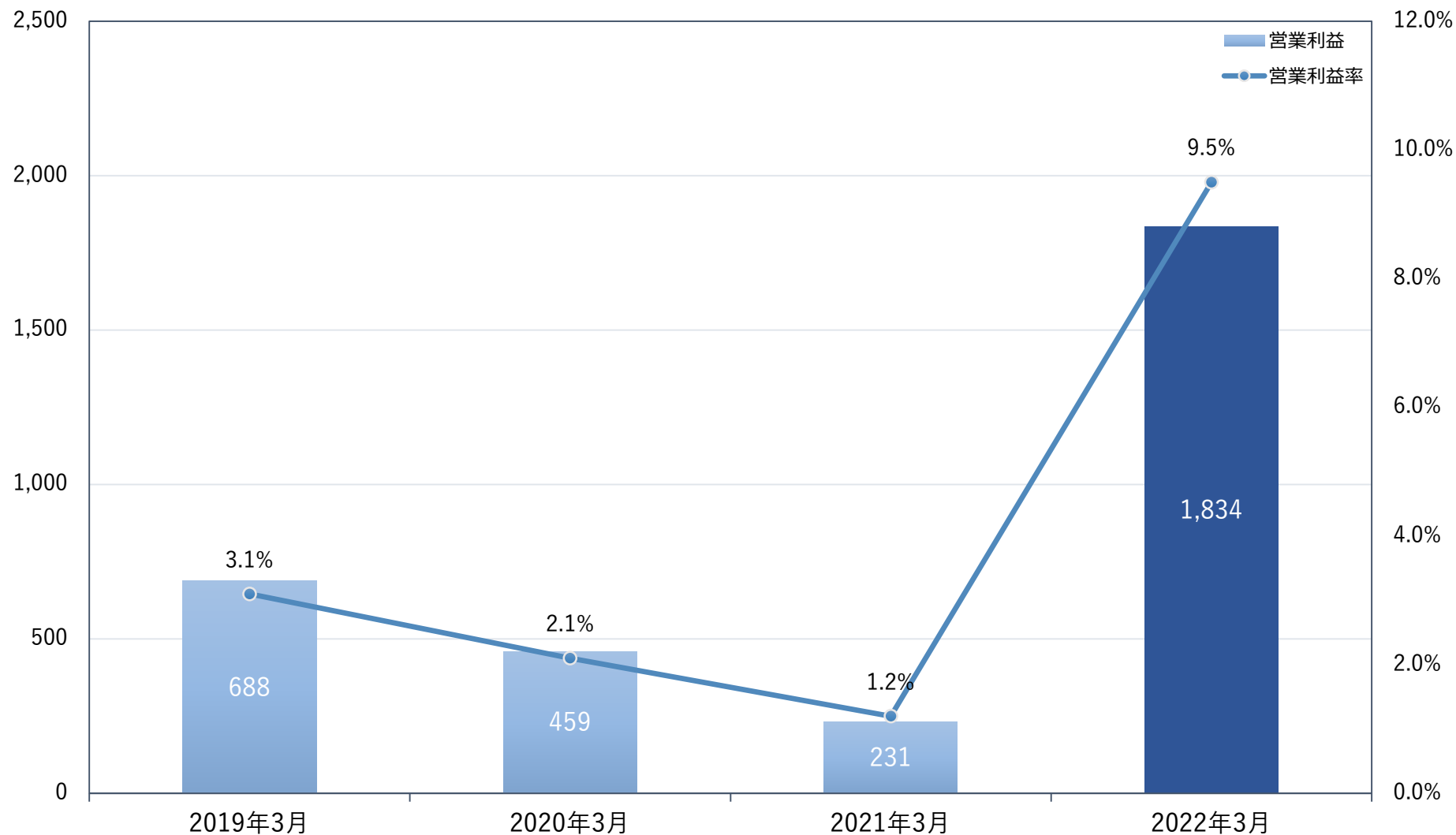
VI.2_1 個別売上高（推移表）

（単位：百万円）



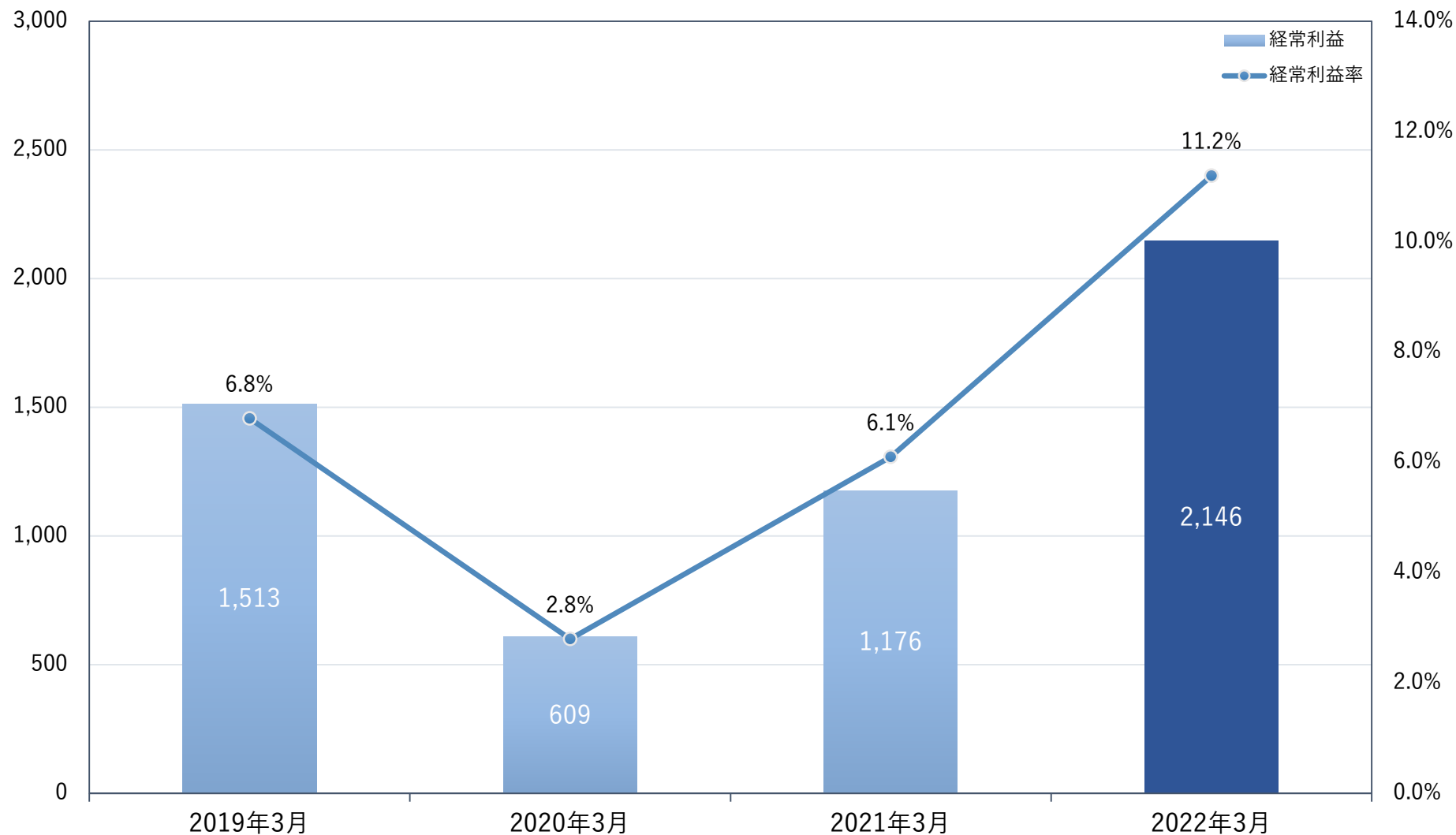
VI.2_2 個別営業利益（推移表）

（単位：百万円）



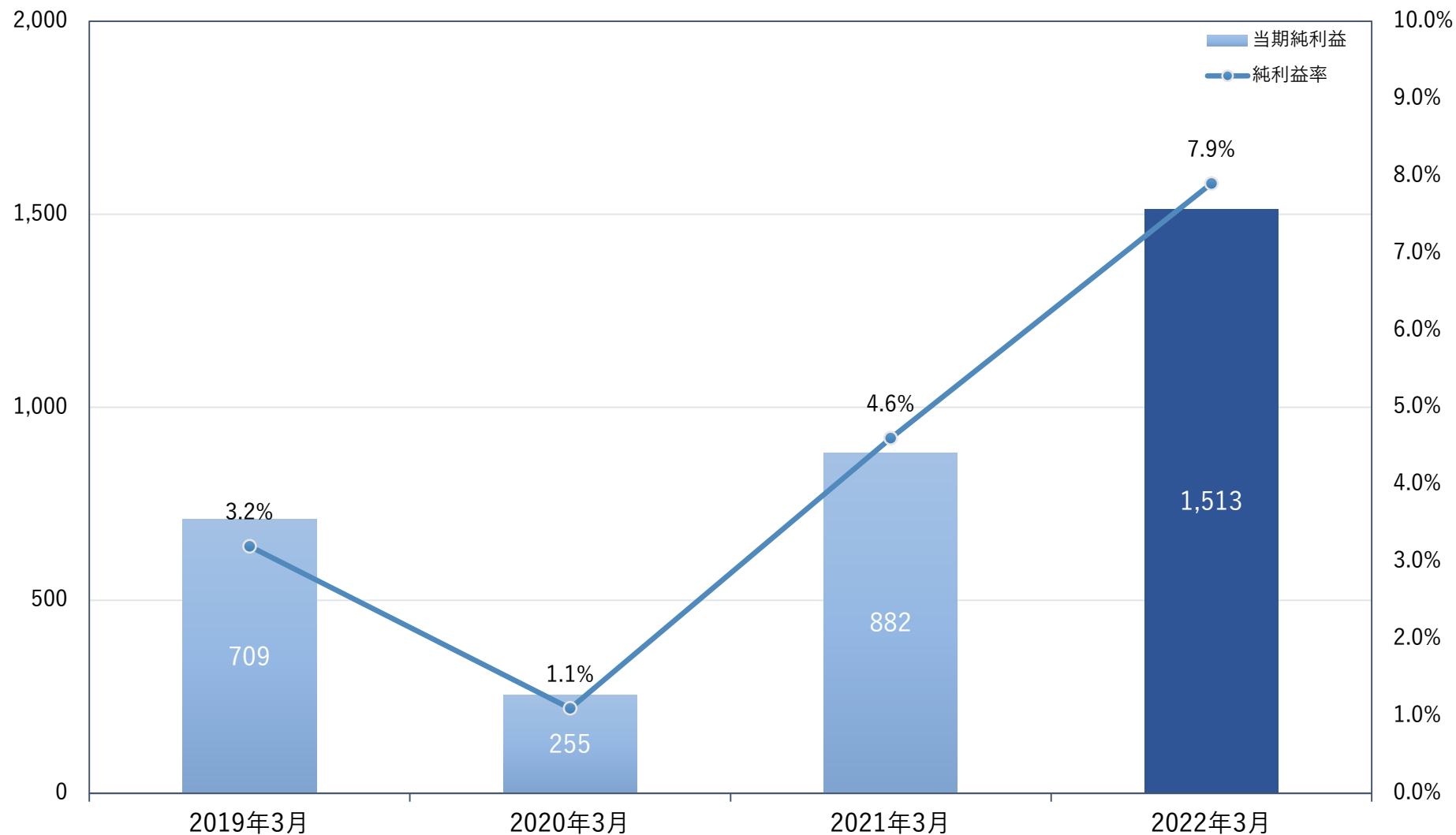
VI.2_3 個別經常利益（推移表）

（単位：百万円）



VI.2_4 個別当期純利益（推移表）

（単位：百万円）



VI.3_1 個別貸借対照表の状況

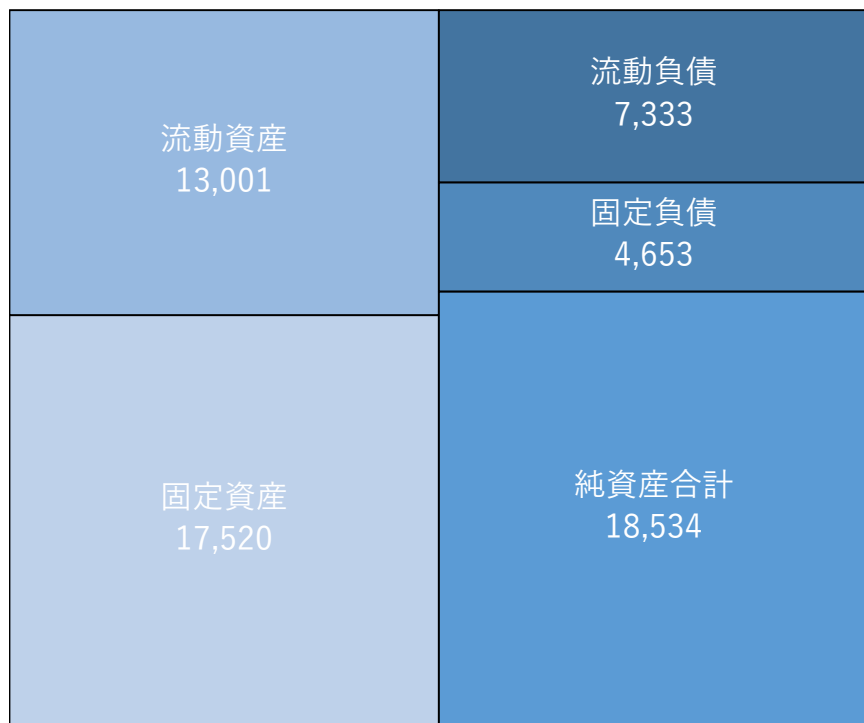
(単位：百万円)		当期 (2022年3月)	前期 (2021年3月)	増減額	主な増減要因
資産 の部	流動資産	16,602	13,001	+3,601	売掛金の増加 +1,430百万円
	現金及び預金	3,101	3,460	▲358	-
	固定資産	18,233	17,520	+713	投資有価証券の増加 +531百万円
	資産合計	34,836	30,521	+4,315	-
負債 の部	流動負債	10,227	7,333	+2,894	買掛金の増加 +1,290百万円
	固定負債	4,553	4,653	▲100	長期借入金の減少 ▲299百万円
	負債合計	14,781	11,986	+2,794	-
純 資産 の部	株主資本計	17,234	16,084	+1,150	利益剰余金の増加 +1,150百万円
	評価・換算差額等	2,820	2,450	+370	その他有価証券評価差額金の増加 +370百万円
	純資産合計	20,055	18,534	+1,520	-
負債純資産合計		34,836	30,521	+4,315	-

VI.3_2 個別貸借対照表 (2期比較)

前期(2021年3月)_BS

当期(2022年3月)_BS

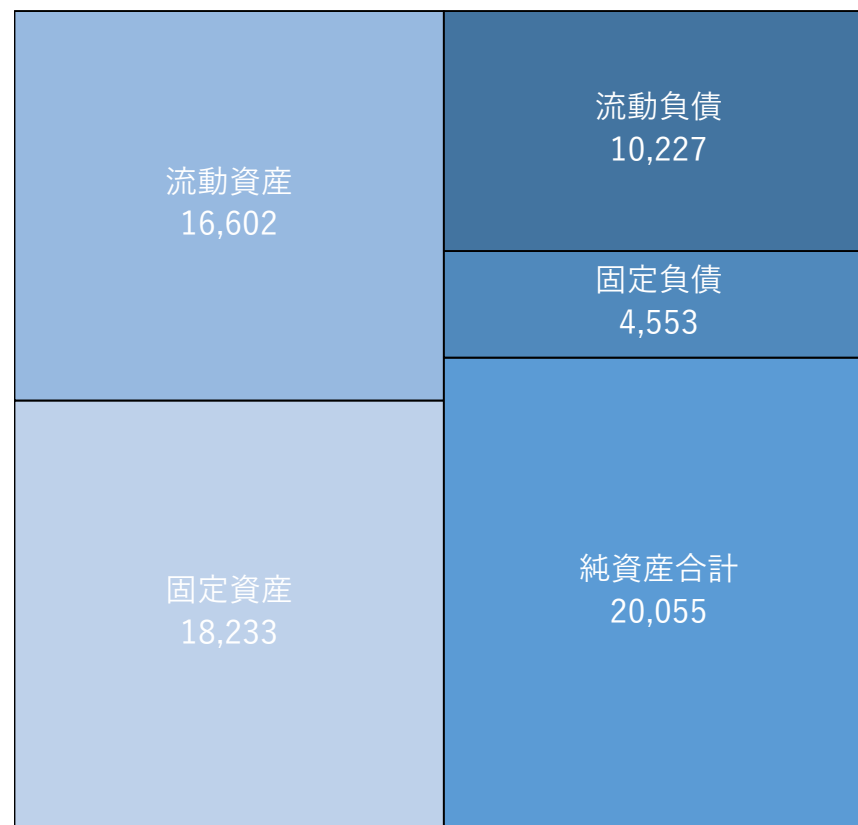
(単位：百万円)



資産合計 30,521

負債・純資産合計 30,521

(単位：百万円)



資産合計 34,836

負債・純資産合計 34,836



ディスクレーマー

本資料は投資家の参考に資するため、新家工業株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として作成したものです。本資料に記述されている業績予想ならびに将来予測は、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。よって、その完全性を保証するものではなく、様々な要因の変化で実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

以上を踏まえた上で、投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い申し上げます。